

2026年2月7日

国士舘大学大学院グローバルアジア研究科

2026年度入学試験問題

修士課程 専門科目 (選択)

ビジネスコミュニケーション分野(地域)

試験時間 60分

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この冊子を開かないこと。
2. 解答は黒鉛筆を使用すること。
3. 机の上は、受験票、筆記用具、消しゴム、時計以外は置かないこと。
4. 問題用紙に受験番号を忘れずに記入すること。
5. 試験終了後、問題用紙、解答用紙共、回収します。

受験 番号	
----------	--

国士舘大学大学院 グローバルアジア研究科

2026 年度

修士課程入学試験問題 専門科目：ビジネスコミュニケーション分野(地域)

以下の問題のうち1つを選択し、解答用紙に問題番号を記入して記述してください。

問題番号：2612041

陰謀論を定義し、それに対しどのようなリサーチの方法が有効か論じてください。

問題番号：2612042

戦争と集団的アイデンティティとの関係について、具体例を上げながら自由に論じてください。

問題番号：2612043

近年のグローバル化の進展により、ヒト・モノ・カネ・情報が国境を越えて移動する状況が常態化している。この結果、国民国家は経済調整や再分配、主権的統治能力を失い、弱体化しているとする議論がある。一方で、グローバル化の進行と同時に、ナショナリズムの再興や国家による介入の強化もみられる。

「グローバル化は国民国家を本質的に弱体化させるのか。それとも、国民国家はナショナリズムを媒介として、グローバル化と共存・再編されうるのか。」この問いについて、次の三点のうち少なくとも二点以上を取り上げ、政治学・国際関係論・アジア学の視点から論じなさい。

- ① 歴史的文脈におけるグローバル化と国家の関係
- ② 現代国民国家の構造的制約（多国籍企業、国際協調など）
- ③ 国民国家が今後果たしうる役割とその限界

問題番号：2612044

近代国家の形成において、「伝統」や「文化」は排除される一方で、国家統合や正統性の根拠として再定義されてきた。アジア諸国では、植民地支配や独立、開発主義などの歴史的経験のなかで、伝統文化が政治権力や国家政策と結びつき、多様な形で扱われてきた。「アジアの近代国家において、「伝統（文化）」はどのように政治と関係づけられてきたのか。それは国家統合や正統性の確立にいかなる役割を果たし、どのような矛盾や限界を生んできたのか。」この問いについて、次の三点のうち少なくとも二点以上を取り上げ、理論と事例を関連づけて論じなさい。

- ① 近代国家形成と伝統の再構築
- ② 国家権力・政策と文化の関係
- ③ アジアの具体的事例（一国または複数国）

国士舘大学大学院入学試験

出題の意図と採点のポイント

研究科名	グローバルアジア研究科
試験期別	第Ⅱ期
試験区分	修士課程 専門科目
試験科目名	ビジネスコミュニケーション分野（地域文化）

■出題の意図

地域文化研究分野においては、配布している『受験準備の手引き』に掲載されている指定参考図書（①松村圭一郎、他『文化人類学の思考法』世界思想社、②筒井淳也『社会を知るためには』ちくまプリマー新書）に基づいて、以下の意図をもって出題しています。

- ①修士課程2年間の学修に備えた、専門的な知識の基礎が身についているかを図る。
- ②地域文化研究についての応用能力や理解度を知るため、具体的な事例等で説明できるかを図る。
- ③論文を書くために必要な文章能力があるかを図る。

■採点のポイント

- ①地域文化研究を進めるための基礎知識をどの程度有しているか。
- ②応用力と説明能力がどの程度あるのか。
- ③論文執筆に必要な文章構造や表現はどの程度なのか。